



防衛 北海道

Bouei Hokkaido
February 2018
Hokkaido
Defense Bureau
Ministry of Defense
Vol. 56



矢臼別演習場において行われた在沖米海兵隊による155ミリりゅう弾砲実弾射撃訓練

目次

- 矢臼別演習場における
 沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施 …… 2～3
- 防衛施設と周辺地域との調和を図るために …… 4
- 絆（きずな）～松前町と松前警備所の紹介～ …… 5
- 平成29年度に採用された職員の声 …… 6～7
- 平成29年度防衛問題ミニセミナーを開催 …… 8
- 防衛省職員採用のご案内 …… 8



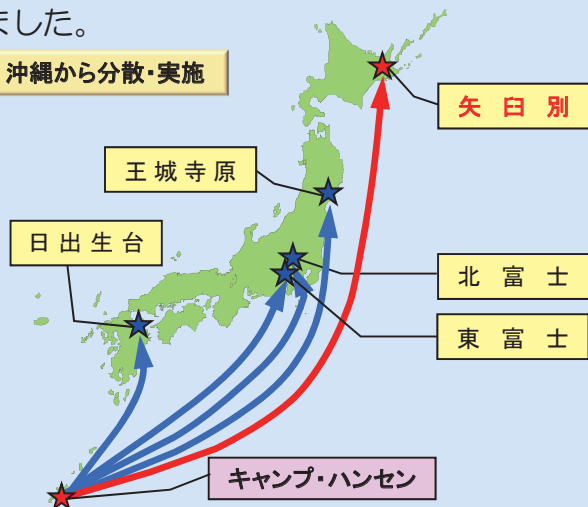
矢臼別演習場における 沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施

沖縄県に駐留する米海兵隊による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施が、平成29年11月27日から12月5日までの間、陸上自衛隊矢臼別演習場において実施されました。矢臼別演習場での訓練は16回目で、訓練規模は、中隊レベル、人員約240名、車両約100両、155ミリりゅう弾砲6門で行われました。

この訓練は、以前、米海兵隊が沖縄県に所在する米軍施設キャンプ・ハンセンにおいて県道104号線を通行止めにして155ミリりゅう弾砲の実弾射撃訓練を行っていましたが、沖縄県の負担軽減のために本土の5演習場（矢臼別、王城寺原、北富士、東富士及び日出生台の各自衛隊演習場）において分散・実施しているものです。

北海道防衛局は、訓練の円滑な実施及び事故防止に万全を期すとともに、地元の皆様に安心していただけるよう、訓練部隊が演習場に到着した11月19日から同地を離れた12月15日までの間、同演習場内に「現地対策本部」（本部長：辻企画部長）を設置し、訓練部隊への支援や自治体等への情報提供、演習場周辺の警備など、訓練の円滑な実施のための支援を行いました。

沖縄から分散・実施



現地対策本部で米海兵隊と日々調整会議を実施

11月26日 米海兵隊及び北海道防衛局による訓練説明会を開催



訓練概要等を説明するバトラー大隊長と辻企画部長

本訓練について地元の皆様にご理解をいただくため、訓練説明会を開催し、地元住民、町議会議員、地元自治体職員及び報道機関の約40名が参加しました。

米海兵隊から第12海兵連隊第3大隊のバトラー大隊長、当局から辻企画部長が出席し、訓練の目的や意義、概要等について説明を行いました。

11月27日 バトラー大隊長が地元4町を表敬訪問

バトラー大隊長は、地元4町（別海町、浜中町、厚岸町、標茶町）を表敬訪問しました。

同大隊長は、別海町長などに対し「訓練は、地元の理解と協力なしには実施できない。」と謝意を述べました。

表敬訪問後、別海町で報道機関のインタビューにも応じました。



別海町長表敬



別海町で報道機関のインタビューに応じるバトラー大隊長

11月28日 米海兵隊による訓練見学会を開催

米海兵隊は、地元の方々を招待し、訓練見学会を開催しました。

見学会においては、小火器、射撃指揮所、155ミリりゅう弾砲について説明した上で、射撃が安全に行われていることを理解してもらうため、射撃時の手順ごとに複数の隊員がチェックしながら行っていることを実演し、最後に155ミリりゅう弾砲による実弾射撃を実施しました。



155ミリりゅう弾砲の説明を受ける参加者

12月8日～9日 米海兵隊によるボランティア活動などを実施



歌を披露する米海兵隊員

米海兵隊員は射撃訓練終了後の12月8日、別海町内の社会福祉施設を訪れ、利用者と共にゲームや歌を通じて交流するなどのボランティア活動を行いました。

また、9日には演習場周辺地域を訪れ、地元の歴史や文化を学びました。

12月13日～15日 米海兵隊が矢臼別演習場を出発

12月13日から人員や装備品の帰路の輸送が始まり、同15日をもって本訓練の全日程が終了しました。



帰路のため陸送される車両



今回の訓練において、地元4町をはじめとする関係機関の皆様のご理解とご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

防衛施設と周辺地域との調和を図るために ～特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の紹介～

防衛省は、ジェット機が離着陸する飛行場や砲撃が実施される演習場など、その設置又は運用がその周辺地域の生活環境や開発に大きな影響を及ぼすと認められる防衛施設（※特定防衛施設）の周辺に所在する市町村に対して、公共用の施設の整備又はその他の生活環境の改善や開発の円滑な実施に寄与する事業に充てるため「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第9条第2項に基づき、特定防衛施設周辺整備調整交付金を交付しています。

北海道防衛局では、今後とも交付金事業が、地域住民の方々の生活の安全性や利便性等の向上、教育・文化、医療・福祉、産業の振興等に寄与するよう努めてまいります。

※特定防衛施設（交付金の対象となる市町）

千歳飛行場（千歳市、苫小牧市）、上富良野演習場（上富良野町、中富良野町、富良野市）、北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）（北広島市、恵庭市）、然別演習場（鹿追町）、矢臼別演習場（別海町、厚岸町、浜中町）、北海道補給処白老弾薬支処（白老町）

教育文化施設の整備

学校施設、グラウンド、公民館、図書館、給食センター等



小学校に児童用のパソコンの購入
（鹿追町）

スポーツ又はレクリエーションに関する施設の整備

体育館、プール、公園、野球場、テニスコート等



公園の遊具の更新
（千歳市）

社会福祉施設の整備

福祉センター、保育園、保健相談センター等



特別養護老人ホームに特殊寝台の設置
（厚岸町）

環境衛生施設の整備

一般廃棄物処理施設、ゴミ収集車、リサイクルセンター等



リサイクルセンターの作業車両の購入
（恵庭市）

絆

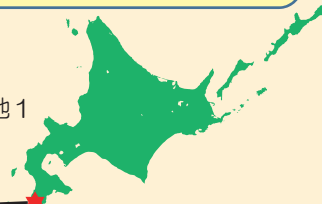
(きずな)

～松前町と松前警備所の紹介～



松前町

〒049-1592
北海道松前郡松前町字福山248番地1
代表電話 0139-42-2275



松前町



石山 英雄 町長

■町長あいさつ

松前町は、北海道の最南端に位置する人口約7,500人の町です。西は日本海、南は津軽海峡に面し、北東は渡島半島の主峰大千軒岳を頂点として、山々が連なっています。気候は対馬海流の影響を受け、北海道としては比較的温暖な地域です。また、北海道最南端の白神岬は渡り鳥など野鳥の聖域として知られ、渡島大島や松前小島とともに、松前・矢越道立自然公園に指定されています。

当町は、北海道唯一の城下町でもあり、福山城（松前城）と寺町は、北海道遺産として認定されています。春には、250種1万本もの桜が早咲きから遅咲きまで約1か月にわたって咲き続けます。松前城下を再現した「松前藩屋敷」では、鎧甲冑の着付けや、名物の松前漬け作りも体験できます。夏の城下時代まつりでは、バイク武者軍団パレード、そして秋には松前本マグロと秋の味覚を味わえるマグロまつりが開催されます。



白神岬



松前公園の桜



バイク武者軍団パレード



マグロまつり

平成30年度から「松前町総合計画」がスタートします。少子高齢化の中で、「生活満足度の高いまち」を将来像に掲げ、「一歩ずつ前進」をテーマに町民総ぐるみで進めていきます。

■自衛隊との関わり

海上自衛隊松前警備所には、町主催の防災訓練において、各関係機関と連携し、松前町の安心・安全のために常日頃からご尽力をいただいております。

また、春のさくらまつり開会セレモニー時には、武者軍団としてご協力いただいているほか、ボランティアとして、バス停待合室の塗装、音楽祭開催時の会場準備や警備などにも積極的に参加していただいております。



防災訓練

松前警備所は、海上自衛隊函館基地隊に所属しており、松前町に所在する北海道最南端の部隊で、津軽海峡を通過する船舶に関する情報業務を実施しています。当部隊の歴史は、昭和30年に白神警備所として発足、その後、組織改編を経て、昭和43年に現在の松前警備所として編成され、松前港近くの庁舎地区のほか、白神岬に白神支所があります。

白神岬の頂きに所在する白神支所では、冬になると、屋外を歩けないほどの風が吹き荒れることもありますが、隊員は、どのような環境下においても任務を完遂できるよう日夜訓練に邁進しています。

当警備所は、春に開催される松前町主催の松前さくらまつりにおいて、武者軍団として行列への参加や防災訓練協力、国道清掃ボランティア活動などを通じて、地域の皆様方に引き続き、ご理解、ご協力を得られるよう努めてまいります。



松前城と松前さくらまつりに参加した隊員一同

平成29年度に 採用された職員の声

企画部 地方調整課 基地対策室 中川智之 事務官 一般職（大卒程度）行政



昨年4月に地方調整課基地対策室に配属され、あっという間に10か月が経過しました。現在、私は自衛隊や米軍の訓練が円滑に実施できるよう関係者と調整等を行う業務に携わっています。

実際に訓練が行われている演習場に行き、米軍や自衛隊の方々と直接調整を行うこともあり、調整業務の難しさを肌で感じられる非常にやりがいのある仕事だと実感しています。

今後も、多様な業務に携わっていく中で、上司の助けを借りながら、日々業務に邁進し、少しでも早く一人前になれるよう努めていきたいと思っています。

私は昨年4月に入省し、あと数か月で1年を迎えます。もうじき社会人1年目が終了するという事実に向きの流れの速さを実感しています。

現在は主に演習場周辺の地方自治体に対して補助金を交付して、河川の改修等の障害防止工事を助成する業務に携わっています。業務を適切に遂行していくためには様々な知識が必要になるので、先輩や上司の方々から教をいただき日々知識の習得に励んでいます。

およそ1年を経てまだまだ自分は未熟だと痛感しているので、初心を忘れず翌年度の業務に取り組んでいきたいと思っています。

企画部 周辺環境整備課 満保敬太 事務官 一般職（大卒程度）行政



帯広防衛支局 総務課 辻永温菜 事務官 一般職（高卒者）事務

私は、昨年4月に帯広防衛支局総務課契約係に配属になりました。

帯広というあまり訪れたことのない土地で初めての一人暮らしとなりました。契約係では契約書の作成等を担当していますが、聞き慣れない言葉が多く、初めは不安なことだらけでしたが、職場には優しい先輩方がたくさんいて、この10か月丁寧に多くのことを教えてくださり、日々習得に励んでいます。まだまだ社会人として学ぶべきことはたくさんあるので、これからも更に成長できるよう気を抜かず日々精進していきたいと思っています。



企画部 防音対策課 渡邊淳也 事務官 一般職（高卒者）事務



昨年4月に入省し、あっという間に1年が経過しようとしています。

私は、防音対策課に所属しており、住宅防音工事の助成を行う業務に携わっています。1年近く仕事をしていてもまだ分からない事が多く、周りの先輩方に助けられてばかりですが、2年目はもっと成長し、少しでも早く一人前になれるように頑張りたいと思っています。

また、私は職場の野球チームに入っています。チームには様々な業務を担当している職員の方達がおり、普段の業務であまり関わることがない方とも親交を深めることができる良い機会だと思います。昨年は惜しくも優勝を逃したので、今年こそは優勝できるように頑張ります。

帯広防衛支局 建設課 横山雅士 技官 一般職（大卒程度）土木

私は昨年4月に埼玉県から津軽海峡を越え、ここ北海道の帯広にはるばるやってきました。

大学は土木工学科を卒業しましたが、実際の土木の現場に携わり、机上だけではなく、実地に学ぶ大切さを痛感しました。工事や設計の業務については、個性豊かな先輩や上司のアドバイスを受けながら、コツコツと取り組む毎日です。

そんな私の2018年の目標は、氷点下20度という厳しい帯広の寒さと指導に耐え、少しでも成長してあたたかい春を迎えることです。



高校を卒業し、防衛省へ入省してから早10か月が経過しました。

防衛省は、高校の先生に教えてもらい、その存在を知り、防衛施設の建設に携われることに魅力を感じ、入省しました。

最初は分からないことばかりで、戸惑ってばかりでしたが、上司や先輩の助けのもと、日々少しずつできることも増え、今は、主に積算業務と監督業務の二つに従事しています。

初めてのことで、上司や先輩には沢山ご迷惑を掛けていますが、今年は、沢山の事にチャレンジし、沢山のことを吸収して、もっと自分の能力を高めて、仕事に活かしていけるよう、努力していきたいと思っています。

調達部 建築課
井口琴乃 技官
一般職（高卒者）技術（建築）



管理部 施設管理課
川森健矢 事務官
一般職（大卒程度）行政

時が経つのは早いもので、私が入省してからもう少しで1年が過ぎようとしています。現在は、庶務業務や防衛施設管理のための測量業務を行っています。これらの業務では、学生時代には触れることがなかった専門的知識を求められることがあり、学ぶべき事項が多岐にわたる反面、新しい知識を身につけられるというやりがいもあり、日々勉強しながら業務に取り組んでいます。

未熟な点も多々ありますが、これまでの学習や上司、先輩方による暖かい助けを糧とし、一人前に仕事ができるように励んでいきたいと思っています。



調達部 土木課
前田哲弘 技官
一般職（大卒程度）土木



昨年4月に入省してから10か月が過ぎました。私は、現在、土木課で自衛隊施設の建設工事の土木分野の設計、積算及び工事監督業務等を行っています。

現場では、自衛隊のニーズに応える独特な工事でもあり、とても良い経験になっています。

自衛隊には、国の防衛に関わる多種多様な施設があり、それらを監督するにあたり、土木の豊富な知識が必要となりますが、まだまだ未熟なため、先輩や上司に助けをもらいながら日々の業務を行っています。

今後、少しでも早く一人前になれるように、これまで学んだことを力にし、また新しいことに挑戦していきたいと思っています。

総務部 会計課
大森圭介 事務官
一般職（大卒程度）行政

昨年の4月の入省式から、1年間がめまぐるしく過ぎようとしています。まだまだ分からないことが多く、上司の方々に助けていただきながら日々の仕事に取り組んでいます。

私の配属された会計課は北海道防衛局の事業を経費や物品管理などの面から支えています。私の担当する係が予算業務を所掌することもあり、各課等の職員の方々と関わる機会も多く、日々の交流からたくさんのことを学んでいます。

2年目は、1年目で学んだことを活かしながら、さまざまな面でお世話になってきた職員のみなさんを下から支える役割を果たせるようになっていきたいと思っています。



私は東京都出身で、昨年4月に防衛技官として入省し、主に防衛施設建設に伴う機械設備工事の監督業務に携わっています。

監督業務では、工事の工程管理や施工の確認・承諾、関係機関との打合せ・調整を行っています。私は大学で機械工学を学んでおり、それに関連した仕事がたく入省しましたが、分からないことが非常に多く、先輩や上司に助けられながら業務に取り組んでいます。

今後、更に任せられることが多くなり、責任も増していく中、これまで以上に知識の習得に励み、少しでも早く防衛省・自衛隊の一人前の技官になれるよう努めていきます。

調達部 設備課
伊藤惇実 技官
一般職（大卒程度）機械



平成29年度防衛問題ミニセミナーを開催



平成30年1月24日に美唄市役所において、平成29年度防衛問題ミニセミナーを開催しました。

この防衛問題ミニセミナーは、防衛政策や自衛隊の活動等について、地方公共団体の職員や商工会・青年会議所等のオピニオンリーダーといった地域の各方面の方々にご説明や意見交換を行うことで、防衛施設の設置・運用に対する理解を深めていただくとともに地域へ情報発信することを目的として開催しているものです。



美唄市 藤井副市長



北海道防衛局 三輪次長による講演

今回のミニセミナーでは、市役所、商工会議所、青年会議所、農業協同組合の職員等、約60名の方に参加していただきました。

開催にあたり、美唄市の藤井副市長からご挨拶をいただいた後、当局の三輪次長が「わが国を取り巻く安全保障環境」をテーマに、講演を行いました。

参加者からは、「北朝鮮、中国、ロシアの情勢がよく理解できた。」「南シナ海問題の話が非常に興味深かった。」「北海道内の防衛施設、訓練について聞くことができ大変有意義であった。」などの感想をいただきました。

当局では、今後も地域の皆様に防衛政策等についてより理解を深めていただけるよう、全道各地で防衛問題ミニセミナーを開催していく予定です。

防衛省職員採用のご案内

北海道防衛局職員（事務職、技術職）は、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験の最終合格者から採用しています。

平成30年度国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）

【インターネット申込受付期間】

平成30年4月6日(金)～4月18日(水) [受信有効]

○ 詳しくは、防衛省及び人事院ホームページをご確認下さい。

【試験の日程】

第1次試験日	平成30年6月17日(日)
第1次試験合格者発表日	平成30年7月11日(水)
第2次試験日(人物)	平成30年7月18日(水)～8月3日(金)
最終合格発表日	平成30年8月21日(火)

防衛省ホームページ
「採用情報」



人事院ホームページ
「国家公務員試験採用情報 NAVI」

